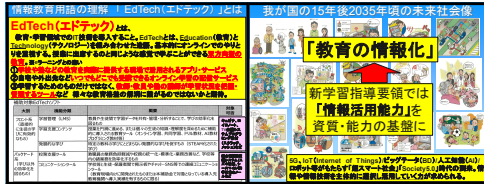


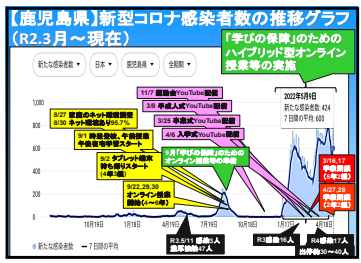
資料1：研究構想図

R4年度 研究構想全体図

【社会及び教育の動向から】
【学校経営方針から】
【教師の実態、ニーズ等から】
【子どもの実態等から】
【これまでの研究から】



【鹿児島県】新型コロナウイルス感染者数の推移グラフ (R2.3月～現在)



With コロナでコロナ禍とともに推進してきた本校の取組と After コロナを見据えた学習指導

【研究主題及びサブテーマ】
 チーム星峯西小学校で取り組む EdTech、教育の情報化「確かな学力」を育むこれからの学習指導システムの構築～アナログとデジタルによる学習指導の融合～

【研究主題等の定義付け、図示】

アナログ学習とデジタル学習の重点の置き方(目安)

	【低学年】 1年生 2年生	【中学年】 3年生 4年生	【高学年】 5年生 6年生
デジタル学習指導	2	4	8
アナログ学習指導	8	6	2

タブレット端末の活用程度
 学校で慣れ親しめ、使う量への持ち帰り可
 学校・家庭で使いこなす量への持ち帰り可

【研究内容】

研究内容①
タブレット端末を効果的に活用した授業づくり

研究内容②
デジタルドリルを効果的に活用した補充指導

研究内容③
家庭学習ノートとデジタルドリルを効果的に組み合わせた自宅学習

【仮説】

仮説①
課題解決学習の課程にロイロノートの教育機能を有効に活かして授業づくりをすれば

仮説②
基礎基本の定着場面と定着の確認・習熟場面でのデジタルドリルを活用方法の工夫を

仮説③
基礎基本を自作家庭学習ノートを共通課題として活用し、発展的な学習でデジタルドリルを有効に活用すれば

【具体的な内容】

○仮説①の具体的な手立て
 ・課題解決学習の課程に沿ったロイロノート、デジタルドリルの実践

○仮説②の具体的な手立て
 ・朝学習 (15分) ベーシックタイムと土曜授業 (45分) チャレンジタイムでのデジタルドリルの使い分け

○仮説③の具体的な手立て
 ・授業での学習→家庭学習→デジタルドリルを組み合わせた循環型の学習サイクル

【研究の方法と手順】
 研究内容①②③に数多くの実践を集約して、そこから見えてきた効果的で有効な学習指導法の組み合わせ方をまとめていくようにする。

【実践する単元・題材の選定と構想】

R4年度実践計画案(実施時期、教科領域、内容等)

学年部	授業(タブレット活用)	授業以外(補充指導)	家庭学習	オンライン授業その他
記入例 ○年部	実施:○月 国語科 単元名「」(説明文)	実施:1月末 朝の活動 「2学期に学習した漢字」	実施:○月 学習課題 「ローマ字の書き取り」	実施:○月 社会科 オンライン授業 単元名「」
1年部	○ ?タブレット活用 算数全年使用可能	○	○	○
2年部	○ ipadと旧タブレット	○	○	○
3年部	○	○	○	○
4年部	○	○	○	○
5年部	○	○	○	○
6年部	○	○	○	○
予定	6/27 研究授業 10/17 研究授業	【今年度の研究授業】 ◆新採1年目 3年相原教諭(教科、道徳、待活) 4年宮下教諭() ◆新採2年目 5年今村教諭(教科・領域等) ◆新採3年目 6年有馬教諭(教科・領域等)	【研修計画】 4/18 本年度研究の概要説明 5/30 研究授業のポイント説明 6/27 研究授業・授業研究 7/21 ICT研修 8/1 ICT研修 8/22 ICT研修 9/26 研究授業のポイント説明 10/17 研究授業・授業研究 10/31 ICT研修 2/20 研修のまとめと来年度研究について	

【研究の成果】 仮説に対応

○仮説①について
 従来型のアナログによる学習指導にデジタルによる学習指導を組み合わせた授業を行うことによる効果をまとめる。

○仮説②について
 課題プリントとデジタルドリルの有効な組み合わせ方をまとめる。

○仮説③について
 家庭学習ノートの有効性とデジタルドリルを組み合わせた自宅自習による効果をまとめる。

【研究の課題】

